くみひもはんどぶっく

2018

千葉市埋蔵文化財調査センター

歴史ある古代の技法
組みひも

「組ひも」とは、手と足だけを利用して糸をななめに交わせて組むひものことです。

ひもがいつから使われ始めたのかは、はっきりとは分かっていませんが、昔の人たちは、何かを身にまとう時やまとめる時、つなげる時など、生活のいろいろな時に必要だったので、ひもを作り出したのではないかという可能性があげられます。

さまざまな種類のひもの中でも、組ひもは強くてねじれにくいのが大きな特徴で、今でも縄とびのひもや登山用のロープなどに使われています。

現在の組ひもは機械で大量生産されていますが、その始まりは手足だけで組んで作られていました。

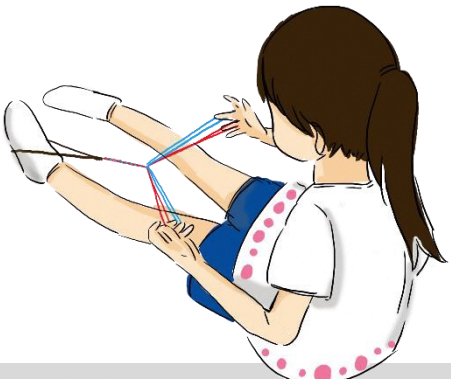
今回は、はじめて組みひもを体験される方や未就学から小学校低学年のお子様でも気軽に体験できる4本組の組みひもをご紹介します。

古代の人々によって考え出された歴史ある組ひもを、無くすことなく現代の私たちも受け継いでいけたらと思います。

組みひもをつくろう

場 所

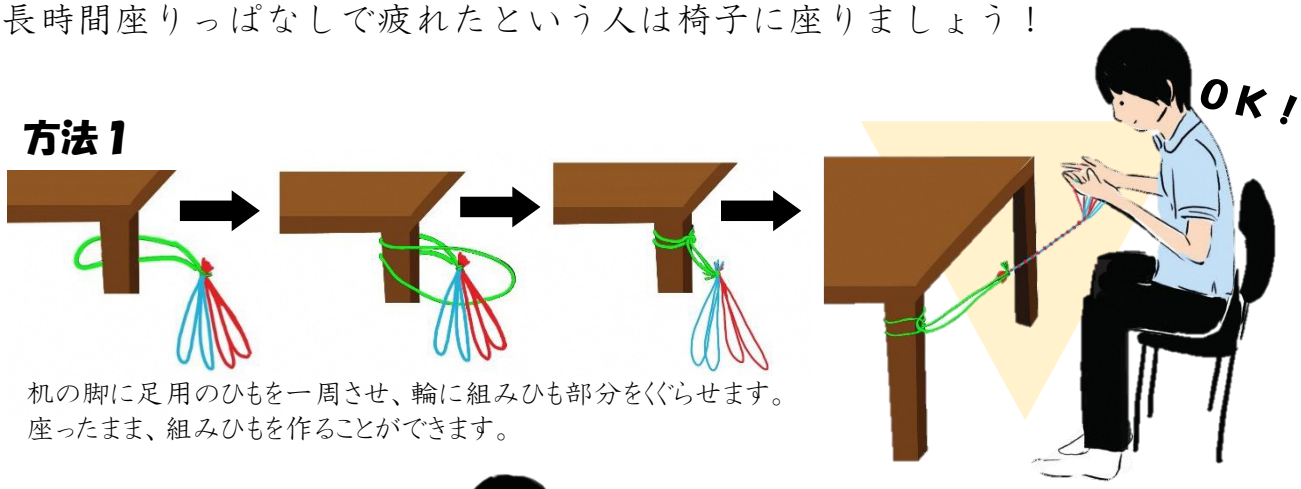
【場所】
埋文センターの体験では床に(必要ならば)マットなどを敷き、足をのばして行います。



【床に座るのが辛い場合】

椅子に座ったまま体験することもできます。ご高齢の方や、長時間座りっぱなしで疲れたという人は椅子に座りましょう！

方法１



机の脚に足用のひもを一周させ、輪に組みひも部分をくぐらせます。
座ったまま、組みひもを作ることができます。

方法２

椅子に座り、足用のひもを膝をあたりに合わせます。
この時、足用のひもの輪はやや小さめにすると糸が張って作業がし易いです。

組みひもをつくろう

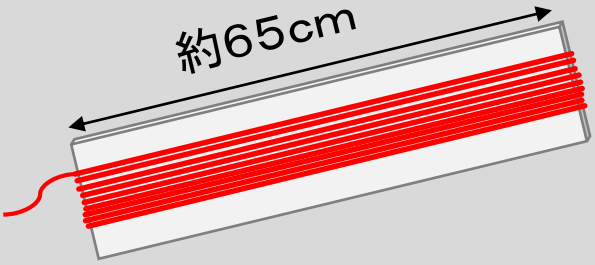
道具・材料の準備

【道具】
必要な道具は**ひもとはさみ**だけ
組みひもになるひもは毛糸や刺繍糸や皮ひも、スエードなどお好きなものでＯＫ
体験では年齢を問わず、100円ショップで購入できる扱いやすい**中太の毛糸**を使用しています。

おすすめ！！
ひもの太さや素材によって作る時間も変わってきますが、同時に仕上がりもさまざまです。
いろいろな素材をつかって楽しむことができます。

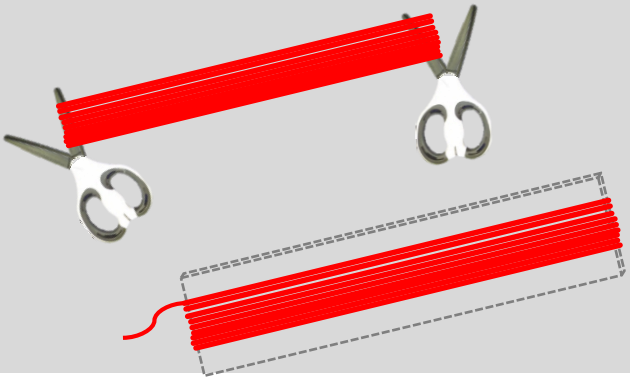
①毛糸を切る

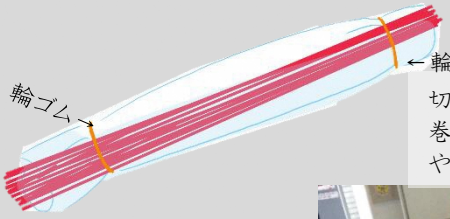
毛糸玉をほぐしていきます。
体験では1本約65cmの毛糸を使用しています。65cmの長さに切ったダンボールや厚紙に毛糸玉をほぐしながら、ぐるぐると巻きつけていきます。



②両端を切って完成！

必要な分だけ巻き終わったら、厚紙をはずし、輪になっている両端を切り落として完成です。
これで65cmのひもが準備できました！埋文では何色か準備して体験用に使用しています。





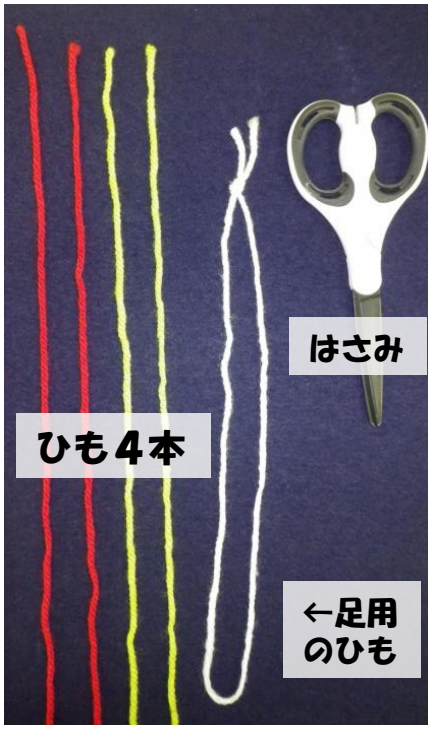
Point!
切った毛糸はビニール袋などで巻いて、ラッピングしておくと保管や体験の際に便利です！

組みひもをつくろう

キットの作り方

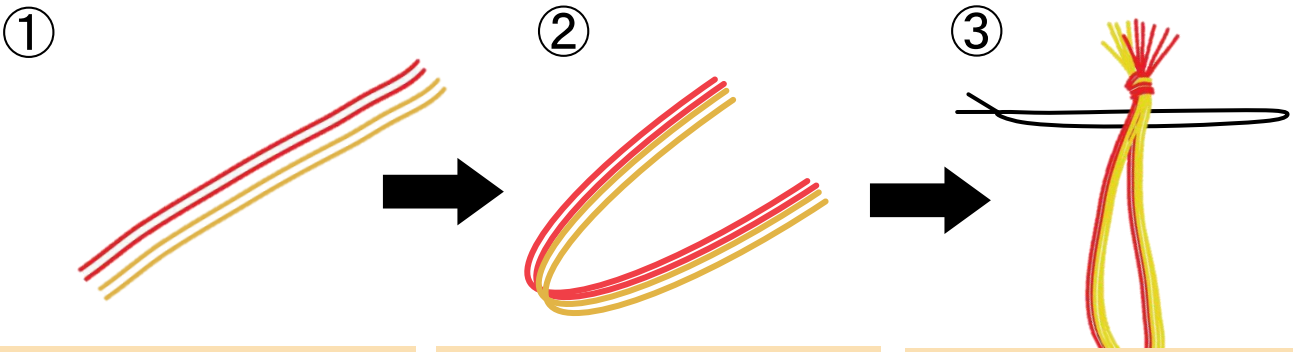
切りそろえた約６５cmのひも４本と輪にした足用のひも、はさみを準備します。

Point!
　はじめて組みひもを作る時は、**ひもを右図のように2色で作る**とわかりやすいです。足用のひもも別の色がおすすめです。



足用のひもの作り方

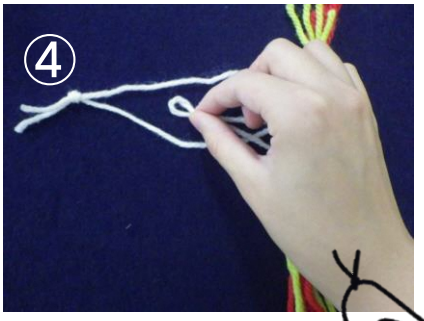
65cmに切った毛糸ををニつ折りにし、両端を一つ結びすれば完成です。

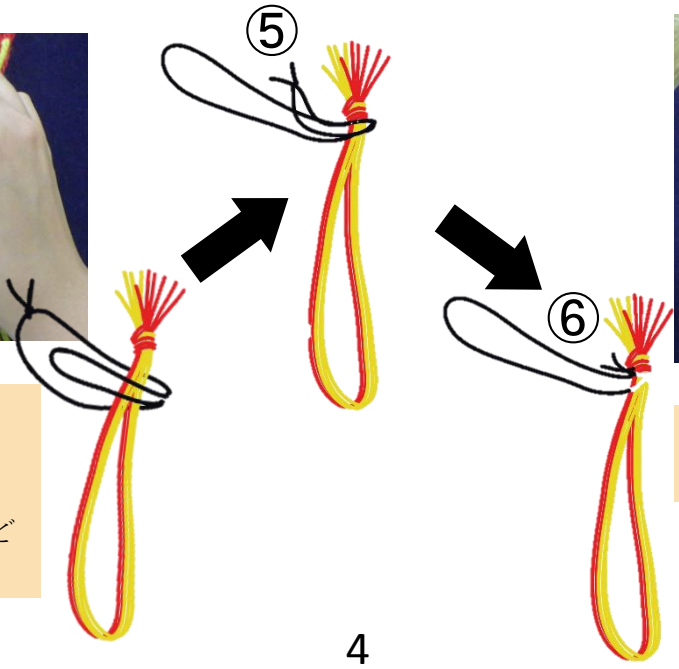


ひも4本をひとつにまとめます。

中心でニつ折りにし、切れている部分をまとめて一つ結びにします。

足用のひもを下に、その上に結び目が上にくるようにひもを置きます。



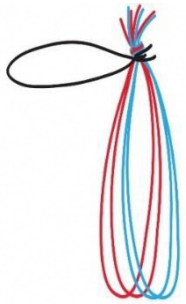


足用のひもの片方を持ち、結び目のある方の輪に通します。
これは最後に足ひもをほどきやすくするためです。

一つ結びの部分に結び目がついていればOK！

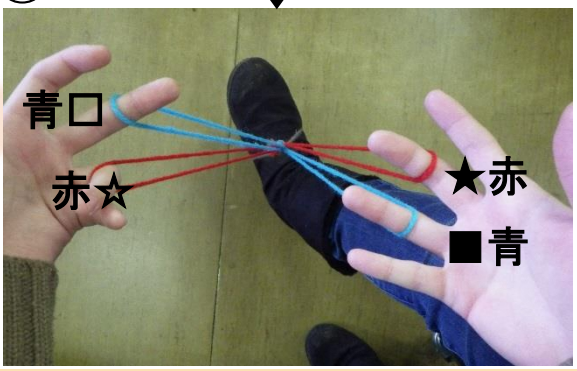
４本組の組み方

４本組は簡単なひもの交差でできる方法です。未就学のお子様から小学校低学年、もちろん大人の方にもおすすめです。



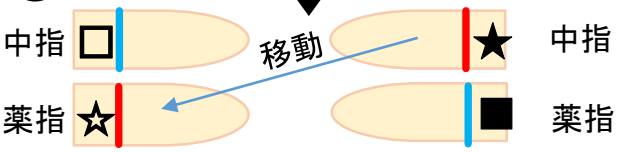
青2本、赤2本、計4本のひもを準備します。

①



右手と左手、両方の中指･くすり指に上のようにひもをかけます。上の写真だと、赤と赤(☆と★)、青と青(□と■)が交差するように、同じ色になっています。

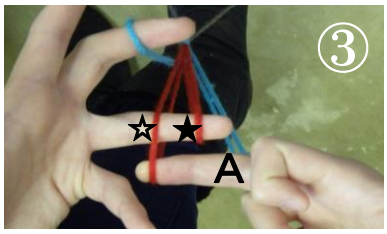
②



まず、右手の赤(★)を左手の赤(☆)に移動します。

③

移動したら、なにもついていない右手のく薬指(A)を使って、もともとあった左手の赤(☆)をすくいます。



④

これで赤の交換がおわりました。おなじように今度は青同士を交換します。この作業を繰り返していきます。

⑤

完成するとこのような模様になります！慣れてきたら４本のひもの色を変えたり、素材を変えたりしてみるのもおススメです！

Point!

４本組は、片方ずつ手にかけると親子やお友だちと2人で一緒に作ることもできます。

終わり方

①

組んでいくうちに指にとおした輪が小さくなってきます。これ以上組めないほどきつくなってきたら、終わりのしるしです。

②

小さくなった輪を重ね合わせて、ひとつの輪にします。この時重ねる順番は特に気にしなくても大丈夫です。

③

組みひもを片手で、もう片方の手で重ねた輪をまとめて持ち、図のように内側へとねじっていきます。だんだんと輪が一つのしましまの輪になっていきます。

④

まとまったら、ねじった輪に一つ結びの方を通します。

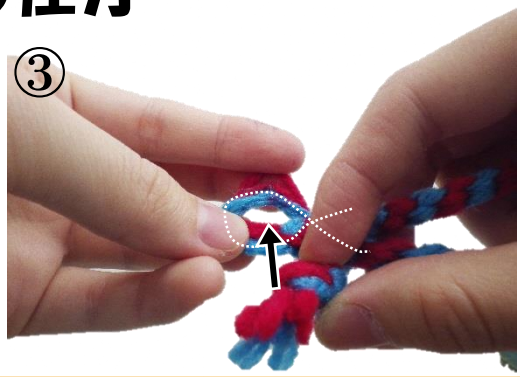
輪の調整の仕方

①

輪を持ち、一度ねじります。

②

③



ねじった輪にもう一度一つ結びを通します。

④

一つ結びの部分をひっぱると、長さ調整ができます！これで組みひもブレスレットの完成です！

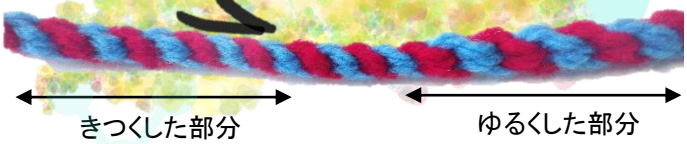
いろいろな組み合わせを楽しもう！

組み方を覚えたら、色を変えたり、素材を変えたりしてみましょう！
アイディア次第でいろいろな楽しみ方ができます。

①

組み上げるときに力を入れると細かい模様、ゆるやかにすると大きい模様になります。

力加減で模様が変わる

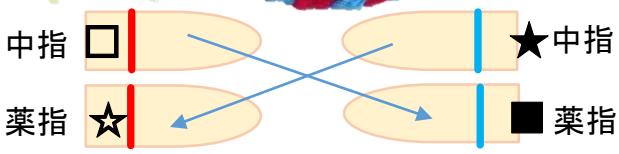


色の組み合わせで変わる

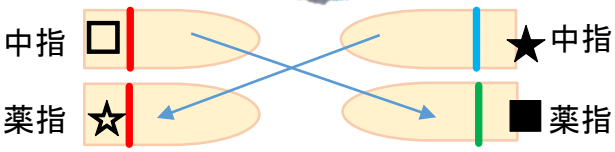
色が変わっても中指と薬指どうしを交差させる組み方は同じです！

②

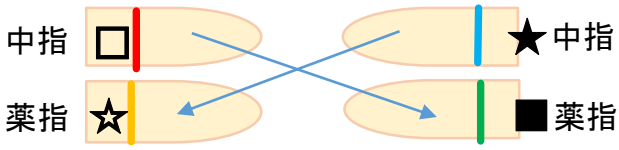
指にかける色と位置をかえるだけでらせん状の模様に！



③



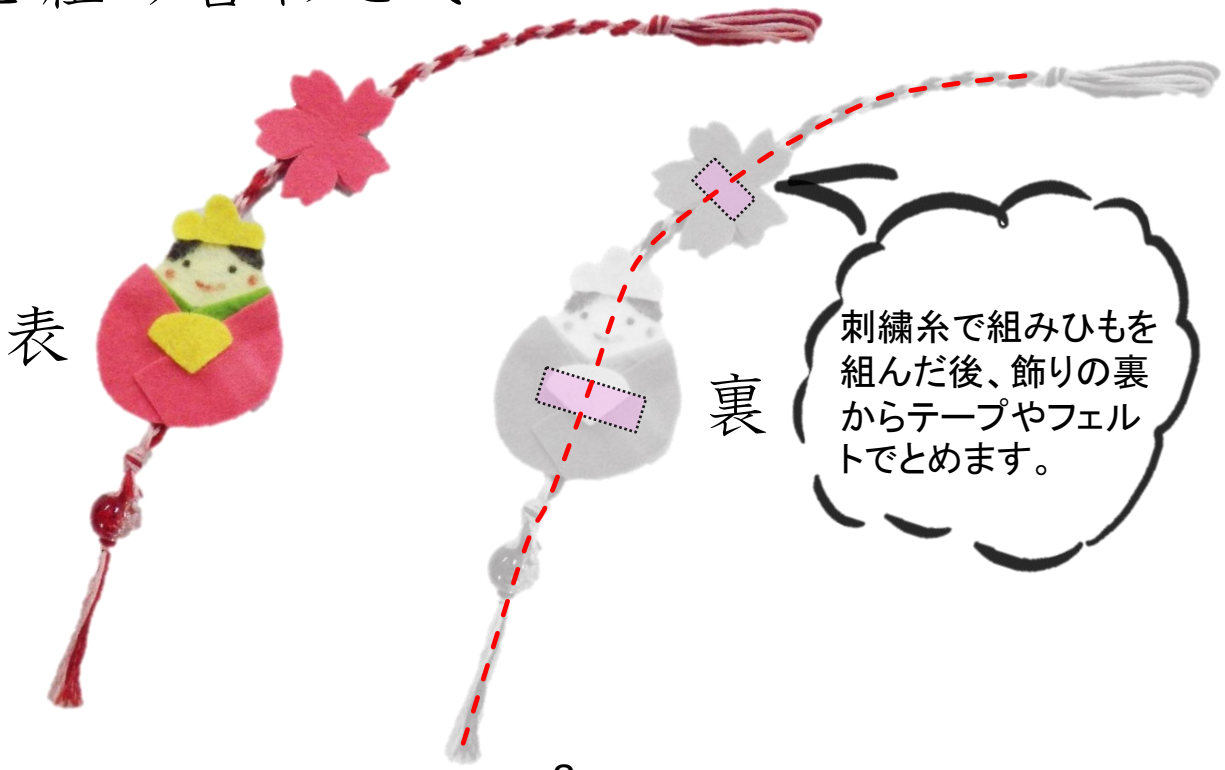
④



季節ごとのイベントにも！

ひなまつりやハロウィン、クリスマス等、季節ごとのイベントに合わせて色を変えたり、飾り物として作ってみたりもできます！

フェルトや折り紙で作った飾りと組み合わせて



組ひもはんどぶっく2018

をダウンロードできます！

千葉市ホームページでPDFデータを公開しています。
パソコンで
千葉市埋蔵文化財調査センターで検索！

千葉市埋蔵文化財調査センター
〒260-0814 千葉市中央区南生実町1210番地
TEL 043-266-5433 FAX 043-268-9004

その他 Facebook
展示や活動の記録等を公開中
https://www.facebook.com/chibamaibun1985/

平成30年2月発行